

# 学校関係者評価 報告書

～令和 5 年度～

学校法人 日本航空学園  
(専) 日本航空大学校

## 1 学校関係者評価委員会の目的

学校関係者評価委員会は、日本航空大学校（以下「本校」と略す）の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況、社会貢献など）について学校関係者より意見を聞き、その評価に基づき学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

## 2 学校関係者評価委員会委員名簿

| 規定第2条（構成）     | 所属                                    | 名前（敬称略） |
|---------------|---------------------------------------|---------|
| 専門分野における業界関係者 | 株式会社第一システム<br>エンジニアリング<br>管理部企画管理課 課長 | 桐山 光明   |
| 専門分野における業界関係者 | 石川県工業試験場<br>博士（工学）<br>次長 兼 企画指導部 部長   | 前川 満良   |
| 保 護 者         | 学校法人 日本航空学園<br>雄飛会輪島会長                | 池 祐美子   |
| 地域の公共団体等の関係者  | 能登空港<br>ターミナルビル株式会社<br>代表取締役専務        | 前田 正彦   |
| 地方の公共団体等の関係者  | 輪島市企画振興部<br>部長 兼 課長                   | 木下 充    |

### 3 学校関係者評価委員会

日 時：令和 5 年 9 月 28 日（木）13:30 ～ 15:30  
場 所：（専）日本航空大学校 応接室 および オンライン  
出 席 者：学校関係者評価委員会、及び本校事務局側教職員

### 4 評価対象期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

### 5 学校関係者評価委員会次第

#### (1) 開会

小林学長より挨拶

#### (2) 出席者確認

各委員 挨拶

#### (3) 資料確認

評価委員会次第、委員名簿、  
日本航空大学校 自己評価・自己点検集計表

#### (4) 議題

##### 第 1 号議案 「令和 4 年度 自己評価報告書」説明および評価

学校関係者評価委員による評価は、令和 4 年度自己評価の項目ごとに  
事務局から説明を行い、各委員から評価・意見をいただいた。  
(詳細別途)

##### 第 2 号議案 その他

## 学校関係者評価委員会における評価

評価は、4 ～ 1 の点数で記載します。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(評価点数は委員の平均値を掲載)

## ★ 1. 教育理念・目標

評価 3.6

- ・課題意見「学生の学力差が大きい」
  - 科目を選定し、適切なグレード別授業を行なう。
    - キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ学科については英語の授業で上級・中級・初級に分けて実施している。
    - トータルモビリティ工学科については、英語およびプログラミング、CADについて上級および初級に分けて授業を実施している。
- ・課題意見「卒業学年において就職内定学生のモチベーションが一部で低下する傾向が見られる」
  - 航空整備科については基本技術（国家資格）の取得を控えているのでモチベーションは保たれている。
  - トータルモビリティ工学科については、卒業研究を通して就職先の仕事に直結する基礎知識と技術を修得している。

## ★ 2. 学校運営

評価 3.3

- ・課題意見「SNSにより情報共有がされているが見落としが多い」
  - 直前に SNS に流すのではなく、余裕をもって計画し情報を発信している。
  - 当日の実施事項は改めて一まとめにして共有化している。
- ・課題意見「一部書類が電子化されていない」
  - 申請書類について、できるものから順番にオンライン化をしている。
  - 授業振替・代講申請については、情報入力量を整理し、効率的にオンライン申請が可能になっている。

### ★ 3. 教育活動

評価 3.4

- ・課題意見「資格取得にチャレンジする学生が減少している」  
→キャビンアテンダント・グランドスタッフ学科については授業において TOEIC 対策講義を実施しており、1 年次は全員受験をしている。
- ・課題意見「新人教員に対する教育が不十分」  
→新人教員とベテラン教員と一緒に OJT 業務を行い、必要な資質向上に関して認識を合わせる

### ★ 4. 学修成果

評価 3.4

- ・課題意見「卒業生が従事している業務内容が具体的に明らかになっていない。在校生は業務内容を知りたいがっている」  
→企業説明会時に卒業生に来校してもらい、在校生にキャリア形成についての話を実施してもらう。  
→ゼミ活動の OB 会に在校生も参加し、先輩の業務内容を知る機会を設けている。

### ★ 5. 学生支援

評価 3.4

- ・評価項目「寮における学習環境が不十分」  
→校舎や寮敷地内において自習室を設置している。
- ・評価項目「課外活動に対する支援体制は整備されているか」  
→学友会主催でスポーツ大会や球技大会を企画・開催している。

## **✚ 6. 教育環境**

評価 3.4

- ・評価項目「防災に対する体制は整備されているか」  
→防災時に備えて備蓄倉庫を設け、水や食料の備蓄を実施している。

## **✚ 7. 学生の受入れ募集**

評価 3.5

- ・評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」  
→オープンキャンパスに加えて、各高校に出向いて大学校の強みをPRしている。  
→各高校にてガイダンスおよび体験授業を行い、高校でのキャリア教育につなげていく。

## **✚ 8. 財務**

評価 3.3

- ・学校経営について  
→日本航空学園は本部で取りまとめて経営している。

## **✚ 9. 法令等の遵守**

評価 3.5

- ・評価項目「自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」  
→自己点検・自己評価を大学校教職員が実施し、問題点の摘出および改善につなげている。
- ・評価項目「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」  
→DX 人材養成事業における情報リテラシー教育にて社内情報、個人情報および最先端技術などの機密事項を厳密に取り扱う重要性を、事例を交えて教育している。

## **★ 10. 社会貢献・地域貢献.**

評価 3.4

- ・評価項目「生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか」
  - 地域の清掃（ごみ拾い）を積極的に実施している。
  - 地域の行事（祭り、マラソン大会など）に積極的に参加している。

## **★ 11. 国際交流.**

評価 3.6

- ・評価項目「留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか」
  - 留学生の母国における展示会の参加、あるいは出身学校に卒業生を派遣し、就職実績をPRする取り組みを行っている。
- ・米山奨学生について
  - 本校から留学生2名が米山奨学生に選ばれた。主な活動は月1回、地域の例会に参加し、スピーチや親睦・奉仕活動を実施している。